

平成16年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果
(全部局による取組み)
(平成17年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成16年4月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成17年3月

政策幹	飯島	義雄			
総務部長	杉本	達治	県民生活部長	旭	信昭
福祉環境部長	梅田	幸重	産業労働部長	横田	満
農林水産部長	東條	功	土木部長	福田	正晴
企業局長	寺坂	智昭			

総括コメント

1 ふくいブランドの創造

- ・「健康長寿」を本県の総合的なブランドイメージとするため、「なぜか長寿。」のポスター掲出をはじめとする積極的な情報発信に取り組み、J西日本のポスターのキャッチコピーに採用されるなど成果を得ました。また、「ふくいブランド大使」については、予想を大幅に超える申込みをいただきました。
- ・「ふくいブランド」を支える県産品については、都市圏での県産農林水産物の販売活動など販路開拓支援を行い、好評を博しました。また、各種の会議や全国大会を活用して積極的に本県情報を発信しました。
- ・今後とも、「健康長寿」をキーコンセプトにした県産品の開発や全国に向けた販路開拓支援など、「ふくいブランド大使」との連携を十分に図りながら、全庁を挙げて「ふくいブランド」の創造に取り組みます。

2 人づくり

- ・地域社会に貢献し、県民に魅力ある大学となるため、今後の取組みの指針となる「県立大学改革基本方針」を策定しました。また、産業界が求める情報の提供や人材育成の要望に応えるため、プレビジネススクールや短期ビジネス講座の開講、地域貢献奨励研究などに取り組み、高い評価を得ました。
- ・今後とも、地域に根ざした研究活動の推進など県立大学の魅力アップに取り組むとともに、地域との連携、協働を積極的に進めます。

3 県民生活の安全・安心

- ・テロや有事等における県民の保護については、昨年12月、全国に先駆けて「県版の国民保護計画」を取りまとめ、国民保護措置を的確かつ迅速に実施できる体制を整えました。安全で安心なまちづくりに向けては、警察本部等と一体となって「治安回復プログラム」に取り組み、刑法犯認知件数が全国一の減少率を示すなど治安回復の兆候を明らかかなものとすることができました。
- ・青少年の健全育成・非行防止対策については、民間団体等と連携・協力して、リーダー養成やボランティア活動機会の提供などに取り組み、非行少年・不良行為少年は前年から約3割減少しました。
- ・食の安全・安心については、フォーラム等の開催による県民意識の高揚、トレーサビリティや地産地消の推進等による消費者・生産者間の相互理解の促進に取り組みました。また、県独自のHACCP認証制度を創設しました。
- ・今後は、子どもの安全確保にも重点的に取り組むなど、引き続き、県民が安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて、民間団体・住民の方々と連携・協力して取り組んでいきます。

4 豊かな自然と美しい環境

- ・ 豊かな自然と美しい環境については、「聖地里山の幅広い活用と保全」、「豊かで美しい水資源の積極的な活用」、「県産材の利用率向上など林業生産活動の活発化」、「クリーンエネルギーの導入」などの施策を進めることができましたが、本県のかげがえのないふるさとの環境を次の世代に継承していくため、今後とも、さらに積極的に取り組むべき課題です。

5 15,000人の雇用創出

- ・ 企業の採用計画やどのような人材が求められているかについて企業に出向いて調査を行うとともに、県内経済界に対して採用の働きかけを行いました。
- ・ また、新規学卒者への就職支援、「若者就職支援センター（ジョブカフェ）」におけるフリーターや若年失業者に対し、カウンセリングやセミナーによる職業意識の啓発や職探しから職場定着まで一貫した支援に取り組みました。
- ・ 来年度からUターン情報センターにおいて、新たに無料職業紹介を開始するなど、引き続き、きめこまやかな就職支援、雇用のミスマッチ解消に取り組み、フリーターの常用雇用化や失業者の減少を図っていきます。

6 ビジットふくい

- ・ 県内への観光客を大幅に増加させるため、庁内ベンチャーの提言や県内外の専門家の意見を踏まえ、「ビジットふくい」推進計画」を12月に策定しました。
- ・ また、一乗谷朝倉氏遺跡、「健康長寿」、「スローライフ」などを融合させたストーリー性のある観光ルートの開発、観光カリスマや観光アドバイザー等の人材の積極的活用による観光地の魅力向上に取り組みました。
- ・ また、小松空港ビル内での観光PRスペースの充実や県内から小松空港への交通アクセスの充実、誘客効果のある各種会議や全国大会の誘致にも取り組みました。

7 農業の企業化

- ・ 産業として自立する農業を目指し、企業的な感覚を持った農業経営体の育成や、収益性の高い園芸作物の生産振興などを重点に取り組みました。
- ・ 今後は、「農林水産業活性化推進本部」で取りまとめた施策の強化方向に沿って、企業的な水田農業の拡大、園芸を中心とした農業産出額の戦略的拡大、ブランド力の向上等に取り組みます。

8 魅力ある快適なまちづくりの推進

- ・ 昨年発生した福井豪雨や台風による被害に対しては、応急工事および災害の早期復旧に全力を挙げて取り組みました。また、災害等に関する情報提供、被害を受けた住宅の新築、補修等に対する支援などソフト対策の充実・強化を図りました。さらに、古民家など歴史的遺産の保存・活用や地域の特色ある景観を生かした魅力ある街づくりの推進に取り組みました。
- ・ 今後とも、関係部局と連携しながら、一日も早い復旧と再度災害の防止に取り組んでいきます。また、伝統的民家の保存・普及、市町村の景観計画策定への支援など魅力ある快適なまちづくりの推進に努めていきます。

「政策合意」の取組項目に係る結果について

別紙「平成16年度 取組項目に係る結果報告（全部局による取組み）」のとおり

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	総務部長	氏名	杉本 達治
取組項目		取組結果	
1 ふくいブランドの創造 「ふくいブランド推進チーム」を中心として、県内外の専門家から助言を得ながら「ふくいブランド」の創造に全庁を挙げて取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 「ふくいブランド推進チーム」を中心として、県内外の専門家から助言を得ながら「ふくいブランド」の創造に全庁を挙げて取り組みました。 〔情報発信パンフレットの見直し (統合2、廃止3) 福井県の位置を示す地図情報を含んだデザインの作成〕	
健康づくり運動の拡大や県民の防犯意識の高揚などに取り組み、「健康・長寿」や「安全・安心」など「ふくいブランド」を構成する「良きイメージ」のナンバーワン県を目指します。		〔成果等〕 取組を継続中です。 「ふくいブランド」を構成する「良きイメージ」をつくるため、健康づくり運動の拡大や県民の防犯意識の高揚に取り組みました。 〔健康長寿調査検討委員会の開催 健康長寿の要因を調査・分析し、本県独自の健康寿命の算定方法を開発 健康長寿フォーラムin福井の開催 16年11月20日、参加者 約330人 JR西日本のマナー向上ポスターが「長寿の国、福井」をキャッチコピーで採用 掲出期間 17年1月上旬～17年3月上旬 全国に先駆けて県版国民保護計画の取りまとめ 福井治安回復プログラムの推進 16年刑法犯認知件数 前年度比 19.5% (減少率全国第1位)〕	
本県の「健康・長寿」を支える農林水産物を活かした「銘品」や繊維、眼鏡等の技術を活かした「逸品」など魅力的な県産品を開発するとともに、南青山291や県外事務所を活用し、全国に向けた販路開拓の支援に取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 本県の魅力的な県産品を開発するとともに、南青山291や県外事務所を活用し、全国に向けた販路開拓の支援に取り組みました。 〔イクヒカリ命名登録 16年9月30日 高収益園芸品目の育成 高糖度ミディマト、クリスマス時期に出荷するイチゴ 越前・若狭とびきり食彩市」開催 16年11月27日・28日、来場者 680人、売上 104万円 都市圏朝市の開催 東京3回 (6月・7月・8月各1回) 来場者 3,000人 売上 74万円 大阪3回 (10月1回・11月2回) 来場者 33,000人 売上 193万円 物産と観光展の開催 東京展 17年1月27日～2月1日 (京王百貨店) 来場者 101,000人、売上 9,100万円 名古屋展 17年2月10日～2月15日 (丸栄) 来場者 52,000人、売上 5,100万円 大阪展 17年2月23日～2月28日 (高島屋) 来場者 139,000人、売上 7,100万円 岡山展 17年3月2日～3月8日 (高島屋) 来場者 22,000人、売上 4,000万円〕	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	総務部長	氏名	杉本 達治
取組項目		取組結果	
各種の会議や全国大会、学会などの開催に合わせて、本県の情報を積極的に全国に発信します。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>各種の会議や全国大会などの開催に合わせて、本県の情報を積極的に全国に発信しました。</p> <p>（ 浜名湖花博での情報発信 16年8月8日、来場者 17,488人 スポレク福井2004での情報発信 16年10月2日～5日、来場者 約133,000人 国際コメ年2004記念イベントでの情報発信 16年5月 田植え体験 約120人 16年8月 コメを考えるフォーラム 約800人 稲刈り体験 約100人 17年1月 記念表彰 約250人 県内開催された全国・ブロック会議等での情報発信 15箇所 ）</p>	
2 人づくり 地域に貢献する県立大学を目指し、交流センターを積極的に活用し、県民ニーズに沿った学習活動を支援するとともに、県立大学の教員や学生が主体的に地域の産業界などとの連携、協働に取り組む環境を整備します。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>交流センターの開放を積極的に行うとともに、県民ニーズに沿った学習活動を支援するため、オープンカレッジ（公開講座）等を開催しました。</p> <p>（ オープンカレッジ（公開講座） 40講座 延2,407人 特別企画講座 1講座 69人 特別講演会 6回 597人 交流センターの施設利用 225回 延22,244人 ）</p>	
ビジネススクールの設置による即戦力になる人材の養成や、地域に根ざした研究活動の推進などにより県立大学の魅力アップに取り組みます。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>プレビジネススクールや短期ビジネス講座を開講し、短期ビジネス講座の受講アンケート結果では、講義に対する満足度において高い評価をいただきました。 大学院ビジネススクールについては、理念、特色、カリキュラム体系などを取りまとめました。 また、地域貢献のための研究活動を推進しました。</p> <p>（ プレビジネススクール 受講者数 85人 短期ビジネス講座 受講者数 63人 アンケート結果 講座に対する満足度 92% 地域貢献奨励研究 テーマ数 18件 ）</p>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	総務部長	氏名	杉本 達治
取組項目		取組結果	
県立大学地域経済研究所等と(財)福井県産業支援センター、(財)福井県中小企業産業大学校等との連携を深め、産業界が求める情報の提供や人材の育成などに取組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		地域経済研究所と(財)ふくい産業支援センター等が連携して、産業界が求める情報の提供や人材の育成などに取組みました。 〔福井県中小企業経営革新フォーラム開催 5回 延154人 連続創業支援セミナー(創業夜話)開催 4回 延207人 アセスメント基準書研究会の開催 4回 延 60人 地域活性化シンポジウムの開催 1回 200人〕	
県立大学や試験研究機関の優れた人材を活かし、「健康・長寿」に関連する研究を実施するなど、「ふくいブランドの創造」に取り組めます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		県立大学や試験研究機関の優れた人材を活かし、「健康長寿」に関する研究を推進するなど「ふくいブランドの創造」に取り組めました。 〔県立大学〕 健康長寿に関連する研究を推進 健康性機能に富む水産発酵食品の開発に関する研究など25テーマ 健康長寿に関連する公開講座の開催 公開講座数 5講座、受講者 延474人 〔食品加工研究所〕 16～17年度 県特産の農林水産物15品目の栄養成分等を分析 17～18年度 栄養成分等の分析結果に基づく機能性評価	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	県民生活部長	氏名	旭 信 昭
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>3 県民生活の安全・安心 テロや有事等における県民の生命、身体および財産を保護するため、全国に先駆けて、「県民保護計画」および「避難マニュアル」を年内に策定します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>「庁内連絡会議」において部局間の連絡・調整を行いながら検討を進め、平成16年12月の計画策定準備会において、全国に先駆けて、県版の国民保護計画を取りまとめました。作成過程で明らかになった課題等については、国の基本指針作成に向けて提言を行いました。避難マニュアルについても、計画の取りまとめ後速やかに着手し年度内に作成しました。</p>	
<p>「福井県安全で安心なまちづくりの推進に関する条例」に基づき、住宅や駐車場、学校等に関する防犯上の指針を策定するとともに「福井県安全安心まちづくり推進会議（仮称）」を設置します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>関係部局と調整を行い、住宅や駐車場、学校等に関する防犯上の指針を5月に策定、公表しました。また、「福井県安全安心まちづくり推進会議」を設置・開催し、防犯活動における関係機関の連携強化を図りました。</p> <p style="text-align: center;">〔 福井県安全安心まちづくり推進会議の開催 3回 〕</p>	
<p>地域防犯活動の中核となる「市町村安全安心センター」を指定し、防犯教室の開催などにより県民の防犯意識の高揚や自主防犯活動の促進を図り、治安回復の兆候を確固たるものとするよう取り組みます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>全市町村毎に「市町村安全安心センター」を指定し、地域住民を対象とした防犯教室の開催を通じて、県民の防犯意識の高揚や自主防犯活動の促進を図りました。また、関係部局との連携のもと、公安委員会、警察本部と一体となって「福井治安回復プログラム」に取り組んだ結果、刑法犯認知件数が2年連続で減少しました。特に、平成16年は全国第1位の減少率となるなど、治安回復の兆候を明らかなものとすることができました。</p> <p style="text-align: center;">〔 防犯教室の開催 全小学校区（216）で実施 校区の統合により、1校区減 安全安心センターへの研修会の開催 全警察署単位（14）で実施 平成16年刑法犯認知件数 10,060件（前年 12,501件） 〕</p>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	県民生活部長	氏名	旭 信 昭
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>「福井県青少年育成アクションプラン」に基づき、民間と連携、協力しながら、青少年の健全育成や非行防止対策を強化します。また、青年リーダーの養成や青少年のボランティア活動を体験する機会の提供に取り組みます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>県青少年総合対策本部による全庁体制のもと、民間団体と連携、協力を図り、青少年の健全育成や非行防止対策に強力に取り組みました。新たに、青年リーダーの養成や青少年のボランティア活動を体験する機会の提供を行った結果、補導された非行少年数は前年比29.9%減、不良行為少年数は29.4%減となりました。</p> <p>〔</p> <p>青年リーダーの養成数 講座参加者数 50人</p> <p>ボランティア活動の実施（ユースチャレンジャー隊） 県内7箇所で行行委員会設置して実施 参加者数（目標）1,120人 （実績）2,639人</p> <p>〕</p>	
<p>「ふくい食の安全・安心行動計画」に基づき、生産者、製造・加工業者、流通業者、販売業者、消費者および行政が一体となり、県独自のHACCP認証制度を創設し活用するなど食の安全・安心を確保する取組みを進めます。</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>「ふくい食の安全・安心会議」を中心に、フォーラムや現地見学・意見交換会の開催により県民の意識高揚に努めました。また、自立する消費者の育成に向けた意識調査、トレーサビリティや地産地消の推進による消費者・生産者間の相互理解の促進に取り組みました。</p> <p>また、昨年12月に県独自のHACCP認証制度を創設し、新年度から認証申請を受付けることとしています。</p> <p>〔</p> <p>ふくい食の安全・安心会議の開催（7月、3月） 県民との現地見学・意見交換会の実施 （9月、11月、2月）参加者 154人</p> <p>ふくい食の安全・安心を考えるフォーラムの開催 （10月31日）参加者 480人</p> <p>食の安全・安心に関する意識調査の実施 回答者 1,291人</p> <p>トレーサビリティ地区別セミナーの開催（9回） 参加者 810人</p> <p>「とれたてふくいの日」の普及定着 （毎月第3日曜日を含む金、土、日曜） ・とれたてキャンペーンの実施（2回） 応募者 3,664人</p> <p>・とれたてふくいの日（県民ホール活用） （11回開催）来場者 約6,900人</p> <p>HACCP認証制度説明会（2月）参加者 230人</p> <p>〕</p>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
4 豊かな自然と美しい環境 豊かで美しい里地里山について、地域活動、学校教育、エコ・グリーンツーリズムを中心とした観光、環境保全運動の場とするなど幅広い活用を図り、その保全に努めます。	〔成果等〕 取組を継続中です。 武生市西部地域等において、地元住民参加によるワークショップや小・中学生の環境学習会等を実施しました。また、農家民宿開業の取組みに対する支援（開業説明会の開催、開業マニュアルの作成）を行い、県が16年3月に認定を受けた「福井型エコ・グリーンツーリズム推進特区」を活用して、今立町において、3農家が開業に向けて準備中です。さらに、エコツーリズムモデル3地区（大野市、池田町、三方町）において自然体験プログラムを開発するとともに、生物多様性を確保するうえで重要な重要里地里山30地区を選定・公表しました。 〔小・中学生の環境学習会 56回〕		
福井の豊かで美しい水資源を活かし、福井の水のブランド化や環境に配慮した河川事業の推進、NPO等との協働による水辺環境の保全などの取組みを強化します。	〔成果等〕 取組を継続中です。 福井の豊かで美しい水資源の新たな活用方策について、各部署等と協議、検討を行い、その考え方を取りまとめました。今後、この考え方に基づき、福井の水資源の積極的な活用を進めます。また、草刈、河床整形（瀬や淵の復元）を実施し、環境に配慮した河川事業を推進しました。さらに、河川愛護団体の活動（河川の草刈、参加者数65,280人）に対する助成や農業用水を活用したビオトープ造成（2か所）を行うなど、NPO等との協働による水辺環境の保全に取り組みました。		
福井の水を育む森林を保全・育成するという観点からも、県産材の利用率の向上や伐採・搬出を低コストで行う事業体の育成など林業生産活動の活発化に取り組めます。	〔成果等〕 取組を継続中です。 意欲的な森林所有者のグループ化を行うとともに、伐採、搬出を低コストで行う事業体を育成しました。また、福祉・教育施設等における県産材による内外装木質化・木製品の導入に対する支援や県産間伐材認証制度の公共土木工事全般への拡大を図りました。さらに、環境・森林部局のイベント等において県産材や水環境の連携したPRを実施するなど、林業生産活動の活発化に取り組みました。 〔森林所有者7グループ化、森づくり隊4隊を結成 県産材による内外装木質化・木製品の導入に対する支援 6市町 県産間伐材認証制度の公共土木工事全般への拡大 活用実績 約1,900m3〕		
太陽光発電や風力発電などクリーンエネルギーの導入に取り組めます。	〔成果等〕 取組を継続中です。 県立高校に太陽光発電設備を設置するとともに、太陽光発電設備を設置する住宅への助成を行いました。さらに、エコエネルギーについての学習会を開催しました。今後とも、テーマを絞って引き続き研究します。 〔太陽光発電設備を設置 県立高校5校：金津高校、高志高校、藤島高校、武生東高校、敦賀高校 太陽光発電設備を設置する住宅への助成 282戸 エコエネルギーについての学習会 6回〕		

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取 組 項 目		取 組 結 果	
5 1 5 , 0 0 0人の雇用創出 企業の採用計画の聞取りを行い、どのような人材が求められているか具体的な労働需要を把握するなど、雇用のミスマッチ解消に取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		県内企業を訪問し、アンケート調査を実施しました。 この調査結果については若者就職支援センター（ふくいジョブカフェ）、Uターン情報センターにおけるカウンセリング業務や中高年齢者の再就職支援事業等に活用していきます。 〔 県内企業100社を訪問 アンケート調査を実施 〕	
全国的な景気回復の動きを踏まえ、経済界を巻き込んで雇用を増やす運動を展開します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		県内企業を訪問し、求人要請活動を実施しました。 〔 県内企業110社を訪問し求人要請活動を実施 本県の完全失業率 3.0%（平成16年） 全国一の低さ 平成17年3月高校卒業予定者の就職内定率 96.6%（2月末現在） 全国有数の高さ 〕	
きめこまかな就職支援を行うため、県内自治体が無料で職業紹介を行う「人と職との出会いセンター」の設置を促進します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		Uターン情報センターにおいて、無料職業紹介事業を平成17年度から開始します。	
就業環境の厳しい新規学卒者への就職支援に取組むとともに、「若者就職支援センター（ジョブカフェ）」において、フリーターや若年失業者に対し、カウンセリングやセミナーによる職業意識の啓発や職探しから職場定着まで一貫した支援に取り組み、フリーターの常用雇用化や若年失業者数の減少を図ります。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		若者就職支援センター（ジョブカフェ）を、5月10日に福井商工会議所ビルに開設し、一部業務を開始しました。 また、7月5日に福井学生就職相談室を併設し、全面的に業務（職業紹介等）を開始しました。 農林水産部関係では、新規就農相談会（4回）を開催し、就農を促進しました。 〔 ジョブカフェ利用者就職人数 238人（3月16日現在） 新規就農相談会等による新規就農 34人 〕	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
6 ビジットふくい 県内への観光客を大幅に増加させるため、庁内ベンチャーの提言や県内外の専門家の意見を踏まえ「観光客倍増計画(仮称)」を年内に策定します。		〔成果等〕 目標を達成しました。 12月27日に「ビジットふくい推進計画」を策定しました。	
一乗谷朝倉氏遺跡や白山信仰など全国にまだ知られていない地域資源と、「健康・長寿」や「心の癒し」、「スローライフの楽しみ」などを融合させたストーリー性のある新たな観光ルートの開発に取り組みます。また、観光ルートの開発に当たっては、近県との連携による広域観光、民宿や一般農家等への民泊を取り入れるなど具体的な取組みを推進します。		〔成果等〕 取組を継続中です。 ストーリー性のある観光ルートの開発等に取り組みました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 旅行エージェントやJR西日本等と連携し、新たな観光ルート開発を実施(健康長寿を支える食や体験学習を組入れ) (例)大野まちなか散策～そば打ち体験～一乗谷朝倉氏遺跡～福井泊～東尋坊～越前海岸～今立和紙すき体験 福井県、京都府、兵庫県知事会議(8月)での合意を基に、北近畿での広域観光ルートを企画し、香港旅行エージェントに提案 民宿をとり入れたツアーの企画促進 ・三国湊の歴史文化と自然体験エコツアー(地域ブランド創造活動推進事業) ・大野、池田、三方(モデル3地区)において地元と協議し、自然体験プログラムを開発。平成17年度にエコツアーを実施 ・農家民宿開業説明会の開催(2回)、今立町において3農家が開業に向けて準備中 一乗谷朝倉氏遺跡の活用推進 (移動式茶店の運営、県立遺跡資料館と復原町並みの共通観覧券の発行) 石川県、岐阜県等と連携し、環白山地域で恐竜スタンプラリーの実施(10～11月)と、ガイドブック「まっぴるポケット白山」を作成(3月) </div>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)
(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
・目標を達成しました。
・目標達成にはいたりませんでした。
取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取 組 項 目		取 組 結 果	
観光カリスマや観光アドバイザー等の人材を積極的に活用し、県全体のホスピタリティの充実や地域グループによる手作り観光の支援などに取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		観光カリスマや観光アドバイザー等の人材を積極的に活用し、県全体のホスピタリティの充実や地域グループによる手作り観光の支援などに取り組みました。	

(観光カリスマを講師とした「観光戦略・もてなし講座」を開催
 ・観光カリスマの菘谷飛騨高山観光協会長等を講師に観光事業者を対象に実施
 嶺北会場(11/1)、嶺南会場(11/2)
 観光地の活性化方策の検討を行う地域に対し、観光アドバイザーを派遣(福井市、今立町)
 「語り部」コンクールの開催等
 ・「語り部」コンクールの開催
 (3/19、福井市内(フェアモール福井)、語り部15人参加)
 ・「語り部」ラジオ生出演によるトーク(3/26)
 観光ボランティアガイド連絡協議会(事務局 県観光連盟)と連携し、観光事業者が自ら行う「もてなし講習会」への講師の派遣を実施(5件)
 地域の手作り観光を支援(地域ブランド創造活動推進事業)
 ・三国湊の歴史文化と自然体験エコツアー (参加者150人)
 ・古民家講座・和紙講座(参加者198人)
 天谷大野市長が観光カリスマに選ばれる。(11月)
 (全国で100人)

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
本県の空の玄関口である小松空港を観光やPRなどの拠点として活用するため、小松空港ビル内での観光物産のPR・販売スペースの確保や県内からの交通アクセスの充実に取り組みます。		〔成果等〕 目標を達成しました。	
		小松空港ビル内での観光物産のPR・販売スペースの確保をしました。また、県内からの交通アクセスの充実に取り組みました。	
誘客効果のある各種の会議や全国大会、学会などの誘致に取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		福井コンベンションビューローと連携を図りながら、誘致を推進しました。	

観光PRコーナーの設置(11/21)
 ポスターとパンフレットの配置

福井県名産品コーナーの充実(15社 40品目)
 と、「インポートフェスタ小松2004」(小松空港
 主催 7月)に、焼鯖ずし・らっきょうなど県内4
 業者の商品を出品

小松空港連絡バスのパークアンドバスライド用駐車場
 を丸岡町役場付近に整備し、17年4月から供用
 を開始

福井コンベンションビューローと庁内全部局によるコ
 ンベンション誘致促進会議の開催(10月26日)

集い開催回数 145回(15年度)
 155回(16年度)

コンベンション会場において、観光PRブースを
 設置し、アフターコンベンションへの誘導を促進
 (実施回数 15回)

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 ・取組を継続中です。

役職	農林水産部長	氏名	東 條 功
取 組 項 目		取 組 結 果	
7 農業の企業化 学識者などからの意見を踏まえ、生産品目の多角化や量産化、ブランド化、販路開拓など農業の企業的な経営展開方法を検討します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		「福井県農林水産業活性化推進本部」を4月に設置し、県民の方々からの意見もいただきながら、今後の活性化方策を取りまとめました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 主な施策の強化方向 <ul style="list-style-type: none"> ・企業的な水田農業の拡大 ・「ものづくり」と「人づくり」両面からの農業産出額の拡大 ・農産物のブランド力アップと戦略的販路拡大 ・地域づくりに対する支援 </div>	
「家業から企業へ」をキーワードに、これからの農業を支える人材の育成に取り組めます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		認定農業者など経営感覚に優れた経営体の育成を推進しました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〔認定農業者数 569経営体 647経営体に拡大〕 </div> 集落農業の組織化や法人化、旧村程度をカバーする広域営農体制の確立を進めました。	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〔広域営農体制 5組織 7組織に拡大〕 </div> 新規就農者の確保を進めるとともに、「ふくいアグリスクール」を開設しました。	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〔新規就農者 23名確保 ふくいアグリスクール 12回開催 32名参加〕 </div> 女性や熟年農業者グループを育成し、地元食材の生産販売の拡大等を図りました。	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〔女性農業者グループ 118グループ 126グループに拡大 熟年農業者グループ 124グループ 142グループに拡大〕 </div>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
8 魅力ある快適なまちづくりの推進 福井前地下駐車場で発掘した石垣や、県内に残されている古民家などの歴史的遺産・建造物の保存・活用に取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 駐車場で発掘された百間掘石垣の復元・展示計画の策定や市町村が行う歴史的建造物の保存活用事業に対し支援しました。 また、登録有形文化財（建造物）に登録された「武生市公会堂記念館」や「アカタン砂防堰堤」、(社)土木学会の土木遺産に認定されたエッセル堤など歴史的景観に寄与しているものの保存・活用に取り組んでいます。 (調査件数 歴史的建造物 1,915件 歴史的建造物群 1,332件 歴史的建造物の保存活用に対する支援 南越前町 明治殿 歴史的建造物の保存・普及に関する講習会の開催 3回 194人)	
地域の創意工夫による個性を生かした魅力あるまちづくりの推進や、地域の特色ある景観を構成する伝統的建造物群などの保存・活用に取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 庁内関係部局で構成する「まちづくり条例制定のための支援検討会」を設置し(5月)、敦賀市のまちづくり条例制定を支援しました。 景観法の周知、理解を深めるために、庁内関係各課と連携して合同説明会を開催しました。また、市町村とで組織する景観行政連絡会を開催し、大野市景観条例に基づく街並み環境整備、三国湊の景観づくり、景観法の活用に向けた県と市町村の取組みについて意見交換を行いました。 また、美観特区(5市)と県とが共同した違反広告物の一斉簡易除去を実施しました。さらに、県内全域で簡易除去を実施できるよう県の屋外広告物条例を一部改正しました。	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (全部局による取組み)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 ・取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
雪や雨等による自然災害から県民の生命・財産を守り、歩道除雪のより一層の充実などにより安全で安心できる快適な生活環境の実現に取組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		昨年発生した福井豪雨や台風による災害に対して、応急工事の実施や災害の早期復旧に全力を挙げて取り組みました。 (災害箇所)の早期復旧と再度災害の防止 砂防事業と治山事業との連携による効率的、計画的な対策工事の実施 福井豪雨により被災した住宅の新築、補修等に対する被災者住宅再建補助金の創設 JR越美北線の全線復旧について、JR西日本との間で基本合意を締結 専門家で組織する委員会を設置し、再度災害の防止等について検討しました。 (足羽川洪水災害調査対策検討会 (災害発生の実態把握と今後の治水対策等の方向性) 山間集落豪雨災害対策検討委員会 (山間部における災害発生メカニズムや災害防止方策等) ハード整備だけでなく、ソフト対策を充実・強化しました。 (インターネットや携帯電話による雨量、河川水位および土砂災害警戒情報等の提供 土砂災害警戒区域等の指定 冬季の除雪に当たっては、県民アンケートの結果をもとに、歩道除雪の充実や圧雪の早期除去に努めました。また、新たに交差点での堆雪の処理を行うなど、道路除雪の改善を図りました。	